

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネウボラロッツ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年2月27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16施設	(回答者数) 13施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、作業療法士、公認心理師などの発達の評価がそれぞれとることのできる多職種で支援できていること。	児童発達支援や放課後等デイサービスを利用してもらっている時にフォーマルアセスメントを実施することで子どもの発達状況を、より具体的に伝えている。支援時は、イメージが付きやすい支援グッズを持参している。	事業が安定していくことで、マンパワーを増やしていく。
2	訪問支援を続けることで、地域での理解や周知がひろがり、担任の先生や管理職からも気軽に相談してもらえるようになった。	新年度に校長会や保育所の所長会で周知のためのパンフレットを紹介していただいている。	管理職の移動などもあり、教育委員会等でも定期的に周知していく。
3	地域の小児科等からも紹介していただくことが増えた。	主治医に、定期的に情報提供を行ったり、子どもの発達状況や福祉サービスの案内を実施している。	那賀圏域の課題として、自立支援協議会等でも共有していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の専従職員がいないため、回数が限られている。	訪問支援できる人員が限られており、実施できる職員が少ない	同行訪問する機会などを増やし、訪問支援の経験を増やしていく
2	合理的配慮については、地域の環境課でできることがそれぞれ異なるため、情報をアップデートしていくこと	教育、福祉と機関がまたがるため仕組みの理解や人員の配置条件など理解できていないこともある	関係する機関の仕組みの理解や日ごろからのコミュニケーションを対話的に実施していく
3	行事などの練習中に、訪問依頼が重なる	関係機関の年間の行事を把握しておく	感染症や、熱中症対策などイレギュラーなことが起こる時などは管理職と顔の見える関係になり日ごろからコミュニケーションをとる

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	ネウボラロッツ					公表日	令和8年3月16日	
		利用児童数				回収数 17名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8			9			
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16			1			
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	16	1					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	16	1			給食についての相談で、 給食開始の初日に訪問していただき ありがたかった	新しい場面や、給食などの心配事は言語 聴覚士などの専門職と対応していきま す。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	14	2		1			
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17						
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13	1		3			
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			2			
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16			1	訪問支援後、小学校と保護者で支援 内容について共通理解を図り、計画に 沿った支援が行われている	つなぎ愛シートや個別指導計画等と一緒に 考えられるように情報の共有などに勤 めて参ります。	
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13			4			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	17						
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	17						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				面談の際、困りごとなど相談させてい ただくと、助言等話してくださいませ	関係機関が増えることで、面接相談のお時間までに 日数が必要なることもあり、保護者の安心感を大切に していきたいと考えています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17						
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17						
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	16			1			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	16			1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	16	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	16			1		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	16	1			ロッツの先生やお友達に会えるのを楽しみに保育所を頑張っているようです	子どもの負担にならないように、訪問支援を継続できるようにしていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	16	1				

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	令和8年3月16日
ネウボラロツ	利用児童数	回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10	3		助言は具体的でわかりやすいですが、環境や形態も違い取り入れられない所がある。自分の考えや指導方法以外の説明や内容を知ることができた。教えていただいたアドバイスや支援方法を取り入れ支援にあっています。子どもの特性にあわせた助言をいただけた。丁寧な説明で保育の参考になります。	言語聴覚士や作業療法士、公認心理師などの専門職も合わせて、それぞれのお子さんの環境に応じて一緒に考えていく方法を模索して参ります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	3		自分の指導方法には支援員さんのように知識や技術が生かしたいところもある。検査結果をもとに、本児の特性を詳しく教えていただきました。また、実際の本児への関わり方もみせていただき勉強になりました。支援員さんの知識は大変勉強になります。	お子さんの状況は一人ひとり違う物であり、多職種での支援方法や新たな知見を学びながら研鑽していきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	12	1		今回初めての訪問でしたが、質問や困りごとにも丁寧に答えていただきました。保育士のごとも理解しつつ回答をいただけています。	それぞれの集団での支援者の環境は違うものであり、引き続き対話的なミーティングを大切に心がけていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	6		悩み困りは軽減できましたが改善に至らず様々な学習方法を模索中 すぐには解消改善が難しく、根気強く支援していきたい。 児への関わり方や環境におけるアドバイスを頂くことで生活がしやすくなっています。	支援者の困りごとが支えられるように引き続き連携して参ります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	11	2		来年度以降もぜひ訪問していただきたい。満足しています。	現場の状況に合わせて、柔軟に対応できるように、多職種で連携していきます。

其他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<p>いつも困っていることへのアドバイスをいただき助かります。 これからもよろしく願います。視覚支援カードもありがとうございました。 これからも情報共有、助言よろしくおねがいします。 様々な関係諸機関と連携して情報の提供・共有をしますが、なかなか目に見えた進歩が見えづらく、どうしたらいいんだろう・・・と日々思案します。 教えていただいた支援方法等を本児と関わる非常勤講師や介助員と共有し支援に当たっています。 子どもの様子について共有が出来てよかったです。 今後も継続して情報共有・協力していきたいです。 保護者・保育士の思いを聞いていただき、児にとって今必要な関わりや育ちの見通しを共有していただくことで保育の方向性を明確にする事ができています。 保護者の思いや学校の思い、同じ方向を向ければと思います。</p>	<p>子どもの発達や特性は目に見て分かるものばかりでなく、作業療法士や言語聴覚士、公認心理師等が実施する発達相談の結果や合理的配慮の事例などを丁寧にフィードバックしていきたいと思えます。また学校、保育所の規模などではそれぞれの環境における配慮や支援の工夫など必要になることが多く、地域の現場の声を教えていただきながら一緒に子どもの支援を考えていきたいと思えます。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年3月16日				
ネウボラロッツ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3			スライドを作成したり、自立活動で使える見本などを持って行くようにしている。視覚支援やタイムタイマーなども持参している
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			訪問の申し入れがあった時に調整している
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			訪問支援の多職種連携をしながらすすめている
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			2025年度から実施している
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			個別に面談している
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		実施できておらず検討していく
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			年度初めや、施設医とケース検討会を実施している
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			必要な聞き取りなどを実施している。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			児童の発達状況を踏まえて共有している
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			訪問の前には管理職やコーディネーター、担当者と打ち合わせをしている
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			2回目の訪問以降は計画を見直してから実施
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			WISCV、STRAW-R、WAVES、新版K式発達相談など専門職により幅広く実施している
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			5領域に沿って計画している
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			閲覧するようにしている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			時間割や、複数支援の場合は担当を決めて取り組むようにしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			訪問後にカンファレンスをチーム内で実施している
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			環境に合わせて提案するようにしている	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			訪問の観察記録を一人1枚書くようにしている	

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			保護者や担任からも連絡をいただくようにして、必要時は訪問回数を増やしている
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			相談支援専門員と兼務しているため情報が共有しやすい
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			保護者の許可を得て主治医の情報提供したり、教育委員会等とも連携している。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			関係機関の引継ぎやすいタイミングで3月、4月などの日程を調整している。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			関係機関の医療や、専門機関に同行させていただいている
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	2		児童発達支援センターということもあり、運営機関になっている
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			訪問以外の支援でも保護者と送迎時などにコミュニケーションをとるようにしている
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			法人内で学齢期、幼児期ともに学習会を設置している。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			契約書、重要事項に基づいて説明している。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			新年度に、校長会や所長会などで周知させていただいている
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			保護者の聞き取りを訪問前に実施している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			関係機関とカンファレンスの後に実施できるようにしている
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			他の事業の支援時や保護者の申し入れに合わせて実施している。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3			保護者学習会や兄弟が参加できるイベントなどを年に数回実施している。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			訪問先とも連携しながら、日程の調整をしている。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			法人のお便りに定期的に文章で発行している。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			十分に気をつけている。
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			相談内容を簡条書きにしたり、子ども向けの視覚支援を利用したりしている
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			電話やLineなどの相談でも対応している
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			働き方改革などもあり、長期休みを使って先生とカンファレンスをとったり管理職にお願いして、個別に先生とのミーティング時間を設けて実施している
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			実施している

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			個人情報保護については年に数回研修している。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			専門職が在籍しているため、必要に応じて担当者が相談している
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		3		訪問支援に特化したものは策定しておらず、法人内の施設で作成したものを運用している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		3		訪問支援に特化したものは策定しておらず、法人内の施設で作成したものを運用している。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			訪問までに打ち合わせしており、現在ヒヤリハットを記載するような案件はない。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			法人内で虐待防止研修やストレスケアについて実施している。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			法人内で虐待防止研修や身体拘束適正化委員会等でも事例を検討している